

放課後等デイサービス事業 立川らびっとくらぶ

平成 30 年度 事業計画書

合同会社サポートウィズ

1. 基本理念

合同会社サポートウィズ 立川らびっとくらぶは地域の子どもたちの居場所が安全で安心できて楽しめるようにするために、放課後等デイサービス立川らびっとくらぶを運営していき、利用児童とその家族、地域の学校や他の福祉サービスと深い連携をとっていく。子どもたちの特性を理解し、それぞれに必要な支援の方法と内容を探し求めていくことを基本理念としていく。

2. 運営理念

- ・それぞれの年齢と興味に合った遊びの中で、楽しみながら育つこと。
- ・大人も友達も含めた周りの人と、自分らしく関わっていけるようにすること。
- ・学校や家庭などの子どもを取り巻く環境を知り、深い連携をとること。
- ・子どもたちの1年先、5年先、10年先を考えていくこと。
- ・子どもたちがどこに行っても、自分らしく生きていけるようにすること。
- ・保護者の方に信頼してもらい、子どものことを一緒に考えていけるようにすること。

3. 基本目標

開所から3年を経て、利用児童は21名の登録となっている。(平成30年3月1日現在) 兄弟姉妹の受け入れも多くなり「きょうだい支援」の側面からも日々の支援に工夫が必要になってくるため、さらに家族支援、相談受付をすすめていく。

週1回の利用の児童から週5回の利用の児童までと利用日数の幅がある中で、それぞれの児童が利用を楽しみにできるような活動内容と環境を整えていく。具体的には誕生会や外出の機会を均等に提供できるように曜日を固定せずに、計画を立てていく。また発達とともに興味や能力も変化していくことを念頭に、コミュニケーションツールとしての遊び道具も固定することなく、児童に応じた提供をしていく。

4. サービスの特徴

- ・利用児童への個別支援・・・スタッフの加配配置により、さらにきめ細かい支援を行なえるようにしていく。職員配置は、常勤4名（児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員2名）、パート5名（指導員3名、看護師1名、作業療法士1名）とす

る。

- ・保護者との連携・・・6ヶ月に1回のサービスモニタリングの他にも、必要に応じて個人面談をおこなっていき、家庭での様子・学校での様子を聞いていく。家庭訪問なども活用して、保護者の話しやすい時間帯や場所を設定していく。

- ・信頼される情報公開・・・ウェブサイトは外部向けに充実させていくが、利用児童の保護者の方への情報提供をさらにすすめ、当事業所の内容に限らず、利用している他サービス全般の相談にも対応できるようにしていく。具体的には、関連サービスの情報提供をできるよう他事業所のパンフレットや案内書を収集しておく。

5. 情報公開について

保護者への適切な情報提供をすすめていくとともに、平成29年7月にリニューアル公開したウェブサイト上で、施設の情報開示をすすめ、国の方針に則った開示義務を全うしていく。

6. 防災・災害対策について

1年に1回、1月に地震を想定した避難訓練を行なう。

7. 個別支援計画書の作成

支援の指針となる個別支援計画は、誕生日、その6ヶ月後（必要な場合はその都度）に、保護者との個人面談を設けて作成していく。今年度は相談支援員の同席もさらにすすめ、保護者の思いを効率よく共有できるようにしていく。

8. 学校との連携について

運動会、学校公開、説明会など各学校が開催しているものには積極的に参加し、利用児童の環境理解の助けにしていく。また学校の担任やカウンセラーと積極的に話し合いの場を設けていく。

9. 他サービスとの連携について

各市の連絡会や勉強会に参加し、相互的にサービスの質を高める働きかけをしていく。具体的には、事業所相互の見学会や小規模な勉強会などを開き、支援のあり方や事業運営のノウハウに関しての意識を高めるよう働きかけていく。立川市放課後等デイサービス連絡会を活用し、市内の事業者との連携をより深いものにしていく。